

2022年3月31日
NITE-Gmiccs機能改修!

NITE-Gmiccs
GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援システム invented by METI

nite
National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

GHS分類結果を Gmiccsで自動的に SDS様式へ

Gmiccsで計算された混合物のGHS分類結果を
Excelファイル又はCSVファイルでSDS様式に出力します。



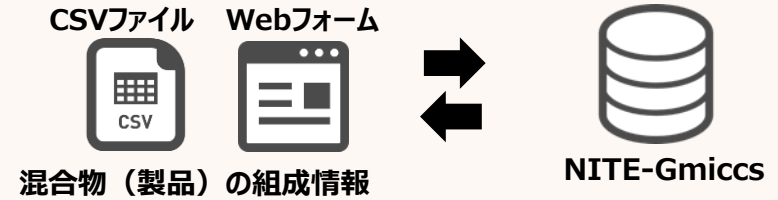
NITE-CHIRP NITE化学物質総合情報提供システム CHIRPと連携し 法律情報を SDS様式へ

混合物の組成成分のCAS登録番号に基づき、該当する一部の
法規制情報（CHIRP掲載のみ）をSDS様式に出力します。

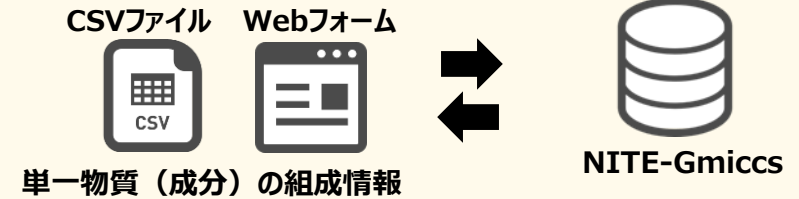
※GHS分類結果をGHS/JISで定められたSDS様式に出力するだけであり、各項目については追記の必要があります。作成者の責任の下に伝達して下さい。

SDS様式の出力と法律情報の紐づけでSDS作成をサポート

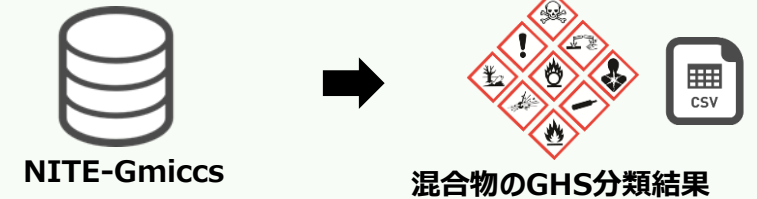
STEP 1 混合物（製品）の組成情報を入力
手入力 or エクセルフォーマット(CSV)でまとめてアップロード



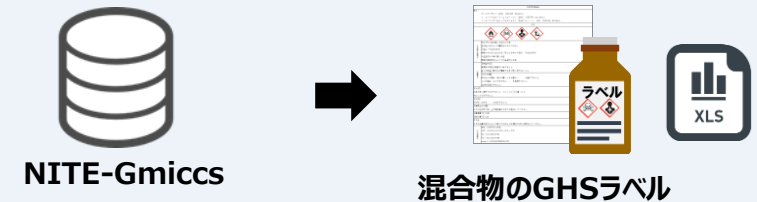
STEP 2 純物質のGHS分類情報を入力
手入力 or エクセルフォーマット(CSV)でまとめてアップロード



STEP 3 分類判定ルールを選択すると
自動的にGHS分類されるのを待つだけ！

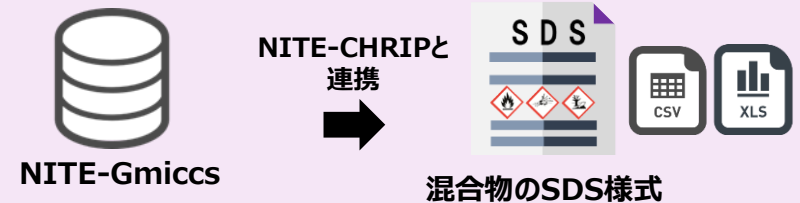


STEP 4 会社情報を入力するとGHS対応のラベルを出力できます



New!

STEP 5 GHS分類結果をSDS様式に出力できます
NITE-CHRIPの一部法規制情報も反映します



新たにSDS様式を編集するSTEP5を追加しました

STEP 5 GHS分類結果をSDS様式に出力できます
NITE-CHRIPの一部法規制情報も反映します



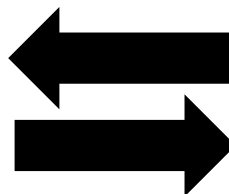
NITE-Gmiccs

GHS混合物分類判定ラベル作成システム invented by METI

SDSの各項目はGmiccs上の
Webフォームで編集可能



CSVファイルは
Gmiccsにインポートが可能



CSVファイル又はXlsxファイルで出力

安全データシート (SDS)		混合物ID	NITE-MIX-1
		作成日	2017/12/7
		改訂日	
		判定ルール	JIS
		対応版	JIS 2019年度版
1. 化学品等及び会社情報			
化学品の名称	ホルムアルデヒド (Formaldehyde)		
製品コード	Gmiccs-NITE-0001		
供給者の会社名	〇〇〇株式会社		
住所	東京都〇〇区〇〇町		
電話番号	03-1234-5678		
電子メールアドレス	NITE@XX.XX.jp		
ファックス番号			
緊急連絡電話番号	03-1234-5678		
推奨用途	溶剤、原料、〇〇、△△		
使用上の制限	〇〇には使用不可		
国内製造事業者等の情報備考	△△△株式会社		
2. 危険有害性の要約			
GHS分類			
物理化学的危険性	引火性液体	区分1	
健康に対する有害性	急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分4	
	急性毒性 (吸入: 粉じん、ミス分類できない)		
	皮膚腐食性 / 刺激性	区分2	
	眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激	区分1	
	呼吸器感作性	区分1	
	皮膚感作性	区分1	
	生殖細胞変異原性	区分2	
	発がん性	区分1A	
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露区分あり)		神経系
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露区分1)		
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露区分あり)		呼吸器
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露区分1)		
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分2	
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分2	
GHSラベル要素			
絵表示 (ピクトグラム)			

GHS/JISで定められた
16項目のSDS様式に出力

GHS分類結果等の情報をSDS様式に出力できます

※GHS分類結果をSDS様式に出力するだけであり、各項目については追記の必要があります。作成者の責任の下に伝達して下さい。

STEP 5 GHS分類結果をSDS様式に出力できます
 NITE-CHRIPの一部法規制情報も反映します

NITE-Gmiccs

GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援システム invented by METI

連携

NITE-CHRIP

NITE化学物質総合情報提供システム

混合物に含まれる組成成分のCAS登録番号が
 NITE-CHRIPの一部法律リストに該当する場合は
 SDSの項目に当該情報を出力します

Gmiccsで判定可能なCHRIP法規制情報

法律情報等	SDS様式の出力箇所
化審法：第一種特定化学物質	1 5. 適用法令 その他の国内法令
化審法：既存化学物質	3. 組成及び成分情報 官報公示整理番号（化審法）
安衛法：名称公表化学物質	3. 組成及び成分情報 官報公示整理番号（安衛法）
化管法	1 5. 適用法令
毒物及び劇物取締法	1 5. 適用法令
安衛法：表示対象物、通知対象物	1 5. 適用法令
安衛法：特定化学物質障害予防規則	1 5. 適用法令
大気汚染防止法	1 5. 適用法令
水質汚濁防止法	1 5. 適用法令
土壌汚染対策法	1 5. 適用法令
日本産業衛生学会：許容濃度	8. ばく露防止及び保護措置
REACH：高懸念物質（SVHC）	1 5. 適用法令

混合物の組成成分のCAS登録番号から適用法令等を判定します

※NITE-CHRIPに記載されている情報は一部にすぎませんので、不足する情報は追記をお願い致します。またCAS登録番号で紐づかない場合は判定できません。

✓ 会社（供給者）情報のインポート機能 STEP **4, 5**

ラベル/SDS用に必要となる会社名、住所、電話番号等の基礎的な情報についてはユーザーが作成したCSVファイルで取り込めるようになりました。これにより会社（供給者）情報の記載の手間を軽減しました。

✓ 毒劇法のラベル出力機能 STEP **4**

毒物及び劇物取締法のラベルに求められる「医薬用外劇物」、「医薬用外毒物」の表示について、混合物の組成成分に毒劇法に該当するものがある場合にラベル上に法律で求められる文言を表示する機能を実装しました。

✓ GHS分類結果に基づくPコードのSDS様式への出力機能 STEP **5**

ラベル要素として求められるGHSの危険有害性区分に割り当てられたGHSが推奨する注意書きのコード（Pコード）に規定されている文言を参考情報としてSDS様式上の各項目に出力する機能を実装しました。

✓ 急性毒性が「区分に該当しない」場合の計算値を設定 STEP **3**

組成成分の急性毒性が「区分に該当しない」に判定されている場合、混合物としての急性毒性計算時には「区分に該当しない」成分は考慮していませんでしたが、すべて急性毒性値（LC50又はLD50）を参照して計算するように設定を変更いたしました。急性毒性値が記載されていない場合はデフォルト値で計算を行います。

お問い合わせ先

TEL. 03-3481-1999

メールお問い合わせフォーム

<https://www.nite.go.jp/cgi-bin/contact/?cid=00000130&lang=0>

Eメールアドレス

nite_gmiccs_info@nite.go.jp



独立行政法人
製品評価技術基盤機構
化学物質管理センター
情報業務課

使用方法についてお気軽にお問い合わせ下さい

NITE-Gmiccs

GHS混合物分類判定ラベル作成システム invented by METI

NITE-CHRIP

NITE化学物質総合情報提供システム